

第13回大阪府自殺対策審議会 議事概要

■日時：令和5年1月17日（火）14時～16時

■場所：大阪府赤十字会館 4階401会議室

■出席者：委員15名

《来場》川野会長、日茂委員、李委員、喜多村委員、前原委員、高山委員

《WEB》中森委員、都村委員、角崎委員、岩谷委員、澤委員、稲田委員、阪口委員、
佐藤委員、池西委員

■議事

(1) 大阪府自殺対策計画（素案）について

(2) その他

若年層に向けた自殺予防相談窓口の広報・周知の取組みについて

■議事結果

○計画（案）は、素案に各委員からの意見も踏まえて必要な字句の修正等を行ったものと
し、字句の修正等は会長に一任することとする。

○計画については、2月に案に対してパブリックコメントを実施し、3月中に策定し公表
することを確認。

■議事概要

(1) 大阪府自殺対策計画（素案）について

- ・計画素案〔資料1〕について説明
- ・計画策定スケジュール〔資料2〕について説明

【主な意見・質疑】

○自殺死亡率について

- ・自殺死亡率の単位を正しく記載してはどうか。
⇒国に確認した上で対応する。

○全体目標について

- ・指標は達成可能な数値か、数値の根拠を教えてください。
⇒大綱の数値目標を参考に設定している。令和3年の数値を基に、国の各年の減少幅を参考に確認したところ、令和9年には13.0より下回る見込みであり、数値は適当であると考えている。
- ・指標を令和9年の自殺死亡率にしている理由は。
⇒次期計画の策定を令和10年に予定しており、目標の達成状況の点検には直近の実績

である令和9年の自殺死亡率を用いることを考えているため。

○各重点施策について

- ・性の多様性に関する理解の促進（重点施策2）は、自殺対策に重要な取組みだが、必要性を示すデータがあれば計画に掲載してはどうか。
⇒データの有無については担当部局に確認する。
- ・自殺未遂者の支援（重点施策6）には未遂者の把握が大事。医療機関にかからなかった人もいるので警察等との連携が重要。若者の未遂の手段は刃物・薬物が多いので、若者には手段に応じた具体的な取組みを検討してもらえたらと思う。
- ・活動指標は具体的かつ実現可能なものがよい。例えば、子ども・若者の自殺対策（重点施策11）について、スクールカウンセラー等の配置も重要であり、指標に加えてはどうか。
- ・活動指標の数値について根拠は何か。また、各事業についても数値目標が必要と考える。
⇒令和3年度の実績を踏まえ、めざす姿に向けた具体的な行動を勘案して設定している。個別の事業については、指針と同様に計画策定後各事業担当課において、できる限り定量的な目標を設定していただくことを考えている。その内容は審議会で報告する。

(2) その他

若年層に向けた自殺予防相談窓口の広報・周知の取組みについて

- ・令和5年1月時点の実績（資料3）について報告